

2021年10月4日

調査室

## 今週の株式相場見通し

\* 日経平均 28,300~30,000円 TOPIX 1,970~2,060

\* 期待材料 組閣後の政策期待 緊急事態宣言解除による経済正常化

\* 不安材料 中国恒大集団の債務不履行 中国の電力不足問題 米国財政問題 米長期金利上昇

一時、深刻視された中国恒大集団(以下、恒大)の債務問題に関しては、株式市場における緊張感はやや沈静化しつつある。習近平中国国家主席(共産党総書記)は、来年の共産党大会で異例の3期目の続投を確実にするためにも深刻な混乱は回避させる可能性が高い。深刻な住宅市場の崩壊や金融システム全体へと影響が広がるような事態となれば、国民全体が被害を受けることになり、格差是正は習近平政権が目指す「共同富裕」ではなく、「共同貧困」によってもたらされることになる。恒大問題は債権者、投資家には大きな負担を求めつつも、ソフトランディングを図るとの見方が市場では広がっている。中国発の懸念材料としては、新たに電力不足によるサプライチェーンリスクが意識されている。電力不足の原因については、11月に開催されるCOP26(第26回国連気候変動枠組条約締約国会議)に向けたカーボンニュートラルへの決意、豪中对立後に中国は豪州発電用一般炭の調達を控えており、その後に急騰した石炭価格と固定的な電力料金の下で電力会社の事業環境が厳しくなっているなどの観測があるが、9月30日時点において詳細は不明である。日本企業の7-9月期決算は、8月中旬以降に明らかになった東南アジアにおける新型コロナの感染拡大後のサプライチェーンの混乱による影響を大きく受けている可能性が高い。東南アジアの新型コロナの新規感染者数は足元ではピークアウトの兆候がでてきているが、中国発の新たなサプライチェーンリスクが台頭していることを踏まえると、企業は10月以降の業績予想も慎重に想定する可能性が高まりつつあるように思われる。企業業績の実績及び先行きへの見方を占う大きな試金石として注目を集めているのが、8日に発表される安川電機の2Q決算の発表である。仮に、中国経済の現状及び先行きについて強気の見方が示されれば、製造業全般の業績予想達成への信頼感が高まるものと思われる。そのような状況となれば、衆院解散から投開票日までの日本株は高いとのアノマリーも意識されることで、株高局面の再開が期待される。今週は安川電機の決算発表を控えて、膠着感の強い相場展開を想定する。(9月30日現在、多功 毅)

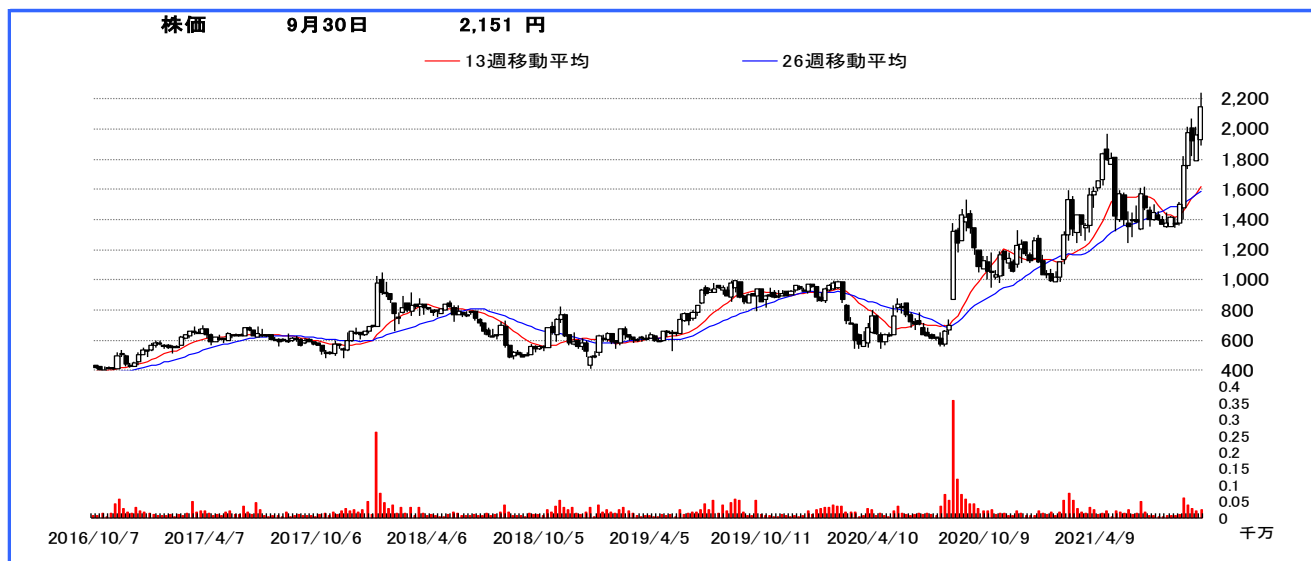
## 今週の予定

	国内	海外
10/4(月)	臨時国会召集 新首相選出 バイク王&カンパニー(3377)3Q決算	ノーベル医学生理学賞発表 OPEC プラス会合
5(火)	サンエー(2659)2Q決算 イオンモール(8905)2Q決算	ノーベル物理学賞発表 [米]9月ISM非製造業景況指数(23:00)
6(水)	ウエルシアHD(3141)2Q決算 壱番屋(7630)2Q決算	ノーベル化学賞発表 [米]9月ADP雇用統計(21:15)
7(木)	セブン&アイHD(3382)2Q決算	ノーベル文学賞発表
8(金)	9月景気ウォッチャー調査 マイナーSQ 安川電機(6506)2Q決算	ノーベル平和賞発表 [中]9月財新サービス業PMI(10:45) [米]9月雇用統計(21:30)
9(土)	東急の日	世界郵便デー
10(日)	出雲全日本大学選抜駅伝	[台]台湾双十節(建国記念日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

## 今週の参考銘柄 **データHR (3628) 東証マザーズ**



	20年06月期 (百万円)	前年比	21年06月期 (百万円)	前年比	22年06月期(予) (百万円)	前年比	株価(9/30) 業種	2,151 円 情報・通信業
売上収益	2,782	23.3%	3,330	19.7%	4,000	20.1%	時価総額	230 億円
営業利益	262	619.1%	348	32.6%	360	3.2%	PER(予想)	95.10 倍
経常利益	263	602.2%	363	38.0%	370	1.7%	PBR(実績)	15.02 倍
当期純利益	201	847.0%	283	40.7%	240	-15.5%	ROE(実績)	20.20 %
EPS(円)	19.00		26.73		22.6		配当利回り(予想)	0.32 %
配当金(円)	4		6		6.67		担当	志田 憲太郎

\*21年9月30日を基準日をして、普通株式1株につき3株で株式分割を行っております。

出所:業績に関する数値は決算短信より

20年6月期のEPS、21年6月期のEPS、22年6月期のEPS、22年6月期の配当金を遡及修正しております。

自社開発の医療データベースとシステム（特許取得）で診療報酬明細書（以下、レセプト）データを分析し治療中の病名の特定と病名ごとの医療費の算出、病期の判定などにより、全国自治体や健保組合などに効率的・効果的なデータヘルス計画を提案、作成支援を提供。2003年から健康保険組合向けに保険事業支援システムの提供を開始、08年に国民健康保険として初めて広島県呉市にジェネリック医薬品促進通知サービスを提供。現在では全国528自治体、50の健保組合、19の協会けんぽを顧客に持つ。レセプトに記載されている病名は追記式であり過去の傷病も記載されるため、現在治療中の病名がレセプトからは判明できず、そのままでは病名と診療行為の紐付けが出来ないうえ、厚労省などが定めたコードに該当しない傷病名も存在する。当社のシステムである医療費グルーピング技術を使うことにより、治療中の傷病名のみ抽出、傷病名ごとの医療費をグルーピング、未コード化傷病名のコード化ができ、正確な医療統計情報が作成できる。また、子会社のDPPヘルスパートナーズでは重症化予防指導を保険者に提供しており、日本で初めて糖尿病性腎症の透析移行予防指導を行った。21年6月期からは保険者職員を教育することにより保険者職員が患者を直接指導できる指導員教育事業を7県から県単位で実施している。

21年6月期通期決算は19.7%増収の33.3億円、32.6%営業増益の3.5億円、38.0%経常増益の3.6億円、40.7%最終増益の2.8億円だった。売上、営業利益ともに過去最高となった。研究開発費や将来にむけて積極的に投資したが増収効果により営業増益となった。22年6月通期計画は20.1%増収、3.2%営業増益、15.5%最終減益とした。今期は大幅増収計画も成長重視経営の過程であるため、積極的な投資を継続することで営業利益は微増に留まる。今後はデータの二次利用の許諾に取り組み、医療ビッグデータの活用も進めていく。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくご依頼致します。

2021年10月4日

調査室

## 特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価(9/30)	今期				来期		
				決算期年/月	経常利益(会社)[百万円]	経常利益(東洋経済)[百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期年/月	経常利益(東洋経済)[百万円]	増益率 東洋経済 予想
3416	ピクスタ	東マ	1,192	21/12	1	25	2400.0%	22/12	40	60.0%
4760	ALPHA	東JQ	1,337	21/8	10	70	600.0%	22/8	120	71.4%
6772	コスモス	東2	1,640	22/3	80	310	287.5%	23/3	360	16.1%
9272	ブティックス	東マ	2,641	22/3	111	350	215.3%	23/3	500	42.9%
4019	スタメン	東マ	995	21/12	22	60	172.7%	22/12	80	33.3%
3419	アートG	名セ	1,900	21/10	20	50	150.0%	22/10	80	60.0%
3323	レカム	東JQ	87	21/9	20	50	150.0%	22/9	100	100.0%
7647	音通	東2	27	22/3	2	5	150.0%	23/3	100	1900.0%
7807	幸和製	東JQ	1,300	22/2	236	560	137.3%	23/2	650	16.1%
3583	オーベクス	東2	798	22/3	210	480	128.6%	23/3	500	4.2%
4616	川上塗	東2	1,755	21/11	58	120	106.9%	22/11	150	25.0%
7991	マミヤOP	東2	666	22/3	50	100	100.0%	23/3	200	100.0%
7273	イクヨ	東2	1,322	22/3	110	220	100.0%	23/3	290	31.8%
2436	共同PR	東JQ	1,035	21/12	200	390	95.0%	22/12	520	33.3%
9362	兵機海	東2	1,607	22/3	200	380	90.0%	23/3	420	10.5%
2788	アップル	東2	301	21/12	370	680	83.8%	22/12	730	7.4%
5104	日東化工	東2	422	22/3	47	85	80.9%	23/3	90	5.9%
5918	滝上工	東2	6,000	22/3	250	450	80.0%	23/3	550	22.2%
2330	フォーサイド	東JQ	107	21/12	109	190	74.3%	22/12	290	52.6%
3355	クリヤマHD	東2	1,021	21/12	3,000	5,220	74.0%	22/12	5,420	3.8%
1992	神田通機	東JQ	1,030	22/3	220	370	68.2%	23/3	520	40.5%
7093	アディッシュ(注1)	東マ	1,526	21/12	30	50	66.7%	22/12	90	80.0%
2736	フェスタリア	東JQ	1,473	21/8	240	400	66.7%	22/8	420	5.0%
4119	ピグメント	東2	2,882	22/3	850	1,400	64.7%	23/3	1,600	14.3%
6618	大泉製	東マ	928	22/3	310	510	64.5%	23/3	540	5.9%
2683	魚喜	東2	1,213	22/2	160	260	62.5%	23/2	270	3.8%
3440	日創プロニ	東2	723	21/8	230	370	60.9%	22/8	420	13.5%
7318	セレンHD	東マ	1,169	22/3	249	400	60.6%	23/3	500	25.0%
4645	市進HD	東JQ	366	22/2	429	680	58.5%	23/2	850	25.0%
4480	メドレー(注1)	東マ	4,165	21/12	430	680	58.1%	22/12	1,020	50.0%
6633	C&GSYS	東2	346	21/12	217	340	56.7%	22/12	350	2.9%
7902	ソノコム	東JQ	865	22/3	230	360	56.5%	23/3	380	5.6%
4421	DIシステム	東JQ	999	21/9	180	280	55.6%	22/9	330	17.9%
6663	太洋工業	東JQ	496	21/12	71	110	54.9%	22/12	120	9.1%
7078	INC	東マ	858	22/3	40	60	50.0%	23/3	100	66.7%
3058	三洋堂HD	東JQ	921	22/3	200	300	50.0%	23/3	400	33.3%
7610	テイソー	東JQ	75	22/2	500	750	50.0%	23/2	800	6.7%
2907	あじかん	東2	862	22/3	200	300	50.0%	23/3	600	100.0%
9636	きんえい	東2	3,110	22/1	140	210	50.0%	23/1	220	4.8%
4962	互応化学	東2	1,091	22/3	281	420	49.5%	23/3	440	4.8%
6033	エクストリム	東マ	1,207	22/3	350	520	48.6%	23/3	1,220	134.6%
8072	出版貿	東JQ	1,582	22/3	190	280	47.4%	23/3	290	3.6%
1777	川崎設備	名2	436	22/3	765	1,120	46.4%	23/3	1,150	2.7%
7983	ミロク	東2	1,655	21/10	450	650	44.4%	22/10	800	23.1%
7064	ハウテレ	東マ	2,212	22/1	7	10	42.9%	23/1	300	2900.0%
6022	赤阪鉄	東2	1,600	22/3	35	50	42.9%	23/3	80	60.0%
6838	多摩川HD	東JQ	1,333	22/3	297	420	41.4%	23/3	520	23.8%
3494	マリオン	東JQ	1,178	21/9	100	140	40.0%	22/9	200	42.9%
6998	タンクス	東2	2,237	22/3	860	1,200	39.5%	23/3	1,300	8.3%
3961	シルバエッグ	東マ	1,268	21/12	144	200	38.9%	22/12	240	20.0%

\* 会社四季報秋号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について9/29に検索したところ448銘柄が該当した。ここでは、その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業の乖離率上位50社を掲載している。なお、銘柄名の横に(注1)のついた銘柄の会社予想経常利益については、上限予想と下限の中間値を掲載している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

### ■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



#### ○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号  
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990%（ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

#### ○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室